

実証試験要領の改訂案

下記に自然地域トイレし尿処理技術分野実証試験要領（以下、要領）の現行第 10 版からの変更または追記案を示す。

	現行（第 10 版）	検討内容（第 11 版）
報告書本編の 表紙・目次	<p>「 . 実証試験結果報告書の作成」(p32-34)に既に小項目までの記述がある。表紙のデザインに関する記述はない。</p> <p>[概要編]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 . 趣旨と目的 2 . 実証試験の概要 3 . 実証試験場所の概要 4 . 実証装置の概要 5 . 実証試験方法 <p>[結果編]</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 . 実証試験結果 <p>[導入編]</p> <ol style="list-style-type: none"> 7 . 本装置導入に向けた留意点 8 . 課題と期待 <p>[参考資料]</p> <p>処理性能に関する主な実証項目の解説</p> <p>[付 録]</p> <p>実証試験計画、実証申請者の提出する資料、試料管理・分析手法、監視・メンテナンス記録、参考文献等</p> <p>要領 10 版(p32-34) より、大項目のみ抜粋</p>	<p>表紙のデザイン（ロゴマーク、実証番号の記載欄を設ける）など、表紙の記述方法を明示する。</p> <p>他の実証試験分野との整合性を考え、目次の大項目を確認する。</p> <p>[全体概要]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 . 実証対象技術の概要 2 . 実証試験の概要 3 . 実証試験期間短縮を目的として過去に調査した試験データの活用を検討（必要な場合） 4 . 実証試験結果 5 . 参考情報 <p>[本編]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 . 導入と背景 2 . 実証試験参加組織と実証試験参加者の責任分掌 3 . 実証対象技術（機器等）の概要 4 . 実証試験場所（またはその他の条件等）の概要 5 . 実証試験期間短縮を目的として過去に調査した試験データの活用を検討（必要な場合） 6 . 実証試験の内容 7 . 実証試験結果と考察（検討） <p>[付録]</p> <p>用語集</p> <p>品質管理に関する事項等の情報（必要な場合）</p> <p>[資料編]</p> <p>野帳、データシートの写し、写真集等</p> <p>注）試験特性に応じて項目の変更、追加、再分化を妨げるものではない</p> <p>【実証運営機関（エックス都市研究所）からの検討事項】</p>

	現行（第 10 版）	検討内容（第 11 版）
報告書概要版	<p>「 . 実証試験結果報告書の作成」(p35-40)に概要版作成についての記述がある</p> <p style="text-align: right;"><i>別添参照</i></p>	<p>他の実証試験分野との整合性を考え、現行の 6 ページ程の内容を 2 ページ程度に集約することを検討する</p> <p style="text-align: right;"><i>別紙参照</i></p> <p>【実証運営機関（エックス都市研究所）からの検討事項】</p>
メーカーからの経過報告	<p>記述はない</p>	<p>実証試験後に実証申請者からの経過報告を努力義務でお願いする。</p> <p>実証申請者は実証試験終了後、当該機種について 5 年を目途にその装置の状況を環境省自然環境局自然環境整備担当参事官室（以下、参事官室）へ報告することが望ましい。本件については参事官室と実証申請者の間で調整する。</p> <p>【環境省参事官室の提案】</p>